

我ら信濃川・大河津分水を愛する！

NPO 信濃川大河津資料館友の会
法人 信濃川大河津資料館友の会

Vol. 40 平成 27 年 8 月 発行

私のおすすめスポット

会員 小林 愛 （三条市在住）

昨年から友の会に入会しました、小林愛と申します。よろしくお願いします。

「私のおすすめスポット」は、三条市下田地区の「八木ヶ鼻」です。五十嵐川の上流にある高さ 200m 以上の石英粗面岩の壁で、新潟県景勝 100 選にも選ばれました。

この場所は古来よりハヤブサの生息地として知られ、昭和 40 年に「ハヤブサ繁殖地」として新潟県の天然記念物に指定されました。一時姿を見せなくなっていました、再び姿を現し、岩壁に生息しています。近年ではカモシカの姿を見ることができるようでした。

写真だけでは分かりにくいですが、実際に見てみるとあまりの大きさに圧倒されます。そして季節や天候によっても様々な表情に変化するのも魅力で、いつ訪れても違う景色が楽しめます。私が先日訪れた際はあいにくの雨でしたが、山頂付近に雲がかかり、モノトーンの風景が素敵でした。

この地域は山に囲まれており、冬場は雪が非常に多いのですが、その時期が特におすすめです。真っ白な粟ヶ岳・守門岳、たくさんの白鳥が羽を休める五十嵐川、そこにそびえる八木ヶ鼻はまさに絶景です。近くには温泉もあるので、美しい風景を見ながら入る温泉は本当に気持ち良くて癒されます。

また夏場はオートキャンプ場もあるので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



第二回ガイド研修

日時：平成 27 年 6 月 20 日(土) 8:30～10:00

場所：大河津資料館 2F 多目的ホール

参加：14 名

早川理事長のお話の後、トミオカホワイト美術館に 20 年間勤務され、現在、信濃川河川事務所大河津資料館運営委員会の委員でもある高石真理子さんにご講演いただきました。国内外数多くの美術館を見て来られたご経験から、海外の有名な美術館から身近な美術館まで、楽しみ方を教えていただきました。（事務局）



講師の高石真理子さん

避難・消火訓練

日時：平成 27 年 6 月 20 日(土) 10:30～12:00

場所：大河津資料館 参加：17 名

分水消防署の指導による避難・消火訓練を行いました。訓練とわかっていても、いざ本番となると火災報知機のけたたましさと慣れない避難・避難誘導で大慌てに終わりました。いつ起こるかわからない事態に備え、日頃の心構えの大切さを実感しました。（支援部・事務局）



消火訓練風景

信濃川クリーン作戦

日時：平成 27 年 6 月 20 日(土) 13:00～14:00

場所：大河津資料館～本川橋下流堤防

参加：10 名

「信濃川をきれいにする会」活動の一環として本川橋下流堤防の信濃川クリーン作戦を行いました。真夏のような暑さの中、皆さん汗だくで頑張ってくださいました。新聞紙やペットボトル、空き缶などでゴミ袋がいっぱいになりました。

庭木の剪定

日時：平成 27 年 6 月 20 日(土) 14:00～15:00

場所：大河津資料館 参加：8 名

クリーン作戦で疲れているにも関わらず、引き続き資料館の庭木の剪定作業が行われました。

梅雨時期に入り、一気に伸びた木々はスッキリと綺麗に剪定されました。作業してくださった皆さん、ありがとうございました。（支援部）



クリーン作戦後



剪定作業風景

信濃川補修工事に骨身を砕きし人々の言い残したもの



信濃川補修工事竣功記念碑

前回、「宮本武之輔と共に信濃川補修工事に携わった男たち」という題で小文を書いてみた。しかし読み返してみると、図写真の類を入れてなかったので、分かり難さがあったかも知れない。元来このシリーズでは写真を一切使っていなかった。それは理由のあるわけではなく、何となく習慣としてそうになっていたのだ。そこで、前回の話を画像中心に振り返ってみれば、また印象も深くなるかと思い、筆を執ったところである。

図1は言わずと知れた「信濃川補修工事竣功記念碑」である。そこに描かれた碑文は当時の内務省新潟土木出張所長 青山士の文と言われ、その表面には、難しいことで知られた以下のよう

な文がある。
「萬象二天意ヲ覺ル者ハ幸ナリ」私は、この極めて宗教色の濃い文をどう解釈するかについて、友の会の皆さんにお話した事がある。しかしそれもどうもわかりにくいようなので、あえてここに現代口語訳を以下のように考えてみた。

「神仏の思し召しに与るには、世の全ての在り様が、神仏の為すところである、を信じなさい。」

つまり彼は工事の完成を喜びながら、それでも謙虚に、その成果の陰に神仏のご加護があったのだと叫んでいるのである。

対して、図2には「信濃川補修工事従業員一同碑」を示している。この碑の形は図1に比べ、限りなく自然の石塊に近い。こちらの石碑は従業員一同が掘出し建てたのだという。そしてこの石碑には銘板が埋め込まれており、そこに書かれている碑文は、短くすると次のようなものである「ここに4年間の苦勞を費やしてこの補修工事を完成させた。われわれの苦勞を忘れないためにこの石碑を建てる。従業員一同」。この対照的な2つの石碑は、それぞれが主張したいことを十分に主張しているようにみえるのである。



信濃川補修工事従業員一同碑

ところでその補修事務所の従業員のことである。60余名はいたその人たちのお名前もほぼ分かっている。しかも従業員一同が青山士、宮本武之輔と共に写っている集合写真が一枚、残っているのである(図3)。この集合写真はいつ撮影されたのか、明確では無い。数多くの補修工事に関する書には一切載っていないのである。ただ、資料館の収納庫に所蔵されている補修工事事務所のファイルの片隅にひっそりと綴じられているのである。数多くの断片的な記述から、これが補修工事事務所の全従業員を含むこと、撮影日はおそらく補修工事の竣功式の日(1931年6月20日)前後であろう、ということである。写真に写っている人を数えると71人にのぼり、推定されている補修工事事務所の人数65人よりやや多い。これはおそらくは青山と共に新潟土木出張所からやって来た人々が含まれているのではないだろうか。この写真を見て目が離せなくなったのは、80



宮本武之輔と青山士(最前列中央)

余年前の昔にもかかわらず写り映えの良さに魅せられたのと、個人個人の並び方があまりにも整然としていて、後ろの列の人々の胸は前の列の二人の間にきちんと見えていることである。一体これほど綺麗に並んだ集合写真を、現代見ることがあるだろうか。この美しい集合写真と口数少ない従業員一同の石碑とは、今ここに大きな仕事を成し遂げたのだ、という喜びと誇りを如実に表しているのだ、という感激に浸るのである。いやそれとも、従業員一同の石碑とほぼ世の中から隠れている集合写真は世の中から隠れていることで、もっと大きなことを我々に言いたいのであろうか？

体験水路で楽しく学びました

日 時：平成27年8月8日(土)9:00～11:50

場 所：大河津分水公園 参加児童：12名

NPO法人水環境技術研究会との共催で、周辺地域の子供たちを対象にした「魚の目線で川を見る」子供勉強会を開催しました。

暑さに負けず頑張った結果、エビやザリガニ、カニなどが獲れてみんな大喜び！楽しく学ぶことができたようです。お手伝いして下さった会員の方々のサポートで、安全に楽しく終えることができました。(事業部)



記念の集合写真

特別講座「パナマ運河と青山土」

日時：平成 27 年 7 月 4 日(土) 14:00～16:00
場所：大河津資料館 2F 多目的ホール
参加：15 名

荒川知水資料館(東京都北区)のボランティア講座で講師をされている清水弘幸さんからお話いただきました。実際にパナマを 2 度訪問され、パナマ運河と青山土について大変熱心に研究をされています。昨年パナマ運河開通(1914)100 周年記念ということもあり関連資料や記念グッズをお持ちいただきました。200 枚ものスライドを用い、なかなか聞く機会のないパナマ運河のお話を聞くことができ、青山土の偉業や熱意を改めて感じました。(事務局)



講師の清水弘幸さん

河川文化講演会 「地震・津波災害を考える」 ／「川の災いと恵み」

日時：平成 27 年 7 月 11 日(土) 9:00～12:00
場所：大河津資料館 2F 多目的ホール
参加：17 名

友の会樋口理事による「川の災いと恵み」の講演の後、新潟大学災害復興・科学研究所准教授のト部厚志さんを講師に迎え「地震・津波災害を考える」をお話していただきました。過去に起きた水害や地震などの自然災害の経験を教訓として伝承することはもちろんですが、いざという時にこれらをどのように活かすかが、いかに大切な事か教えていただきました。(事業部)



講師のト部准教授

資料館インフォメーション

大河津分水周辺親子見学ツアー 新しい可動堰を探検してみよう！

信濃川河川事務所主催で夏休み特別イベントとして、小学生とその保護者を対象に大河津分水周辺親子見学ツアーを開催します。

信濃川大河津資料館のほか、普段は入れない堰の操作室なども見学できます。

日時：平成 27 年 8 月 29 日(土)
1 回目 9:00～12:00
2 回目 13:30～16:30

集合場所：信濃川大河津資料館(燕市五千石)

対象者：小学生と保護者の方

定員：各回 20 組(合計 40 組、先着順に受付)

参加費：1 人 100 円(保険代)

申込締切：平成 27 年 8 月 26 日(水)

お申込み・お問い合わせ先はこちら
国土交通省信濃川河川事務所総務課
TEL：0258-32-3020
FAX：0258-33-8168
E-mail：shinano@mail.go.jp

信濃川・大河津分水写真コンテスト 作品大募集

～信濃川の魅力を一枚の写真に～

母なる大地越後平野に恵みをもたらす信濃川、越後平野の治水の要として私たちの暮らしを守る大河津分水について、その魅力を広く紹介し、もっと身近に感じていただけるよう、これらを題材にした写真を募集しています。

部門：信濃川下流・信濃川中流及び魚野川・大河津分水・ジュニア(新設)

応募対象：アマチュアに限ります。

応募締切：平成 27 年 10 月 14 日(水)必着

お申込み・お問い合わせはこちら

○国土交通省信濃川河川事務所総務課
〒940-0098

新潟県長岡市信濃 1-5-30

TEL：0258-32-3020

○新潟フジカラー取扱店

詳しい内容は信濃川河川事務所 HP をご覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

イベント案内

県内日帰りバスツアー開催 ～亀田郷乾田化のあゆみと鳥屋野潟～

今回は大河津分水通水とその後の土地改良事業により豊かな穀倉地帯へと変貌した亀田郷・鳥屋野潟周辺を巡ります。(事業部)

日時：平成 27 年 9 月 8 日(火)
9:00～17:00

定員：20 名程度

会費：1 人 2,000～2,500 円程度

行程：大川津ふれあいセンター⇒亀田郷土地改良区⇒ビッグスワンから鳥屋野潟をのぞむ⇒昼食(ラ・ピアンタにてパスタランチ)⇒新潟日報 おもしろしんぶん館⇒アグリパーク⇒大川津ふれあいセンター

※申込み締切 8 月 28 日(金)

※参加希望者は事務局までご連絡ください。

※定員になり次第、締め切ります。

県外 1 泊 2 日バスツアー開催 ～大河津分水路水理模型実験施設見学会～

今回の県外河川探訪は茨城県つくば市内にある分水路の水理模型実験を実施している施設の見学や利根川水系渡良瀬遊水地を巡るツアーです。

実際に水を流しての実験、必見です。(事業部)

日時：平成 27 年 11 月 7 日(土)～8 日(日)

定員：40 名

会費：1 人 15,000～20,000 円程度

行程：大川津ふれあいセンター⇒国土技術政策総合研究所敷地内(つくば市)「大河津分水路水理模型実験施設」見学⇒国土地理院(つくば市)「地図と測量の科学館」見学⇒懇親会・宿泊(つくば市内)⇒渡良瀬遊水地(栃木市)・湖岸一周・渡良瀬遊水地湿地資料館・「谷中湖」展望台・田中正造翁像等々見学予定⇒大川津ふれあいセンター

※申込み締切 9 月 25 日(金)

※参加希望者は事務局までご連絡ください。

※定員になり次第、締め切ります。

大河津分水講演会 2015 開催 ～地域と考える信濃川・大河津分水の恵みとその将来～

第31回（2015）日本国際賞（Japan Prize）を受賞された東京大学名誉教授の高橋裕氏をお迎えして、第4回大河津分水講演会を開催します。河川工学の泰斗である先生から、我が国の河川技術と技術者の歩んだ道について、大河津分水にも焦点をあてながらお聞きできる、またとない機会です。（事務局）

日 時：平成 27 年 10 月 6 日（火）14:30～17:00（開場 13:30）
講 師：東京大学名誉教授 高橋 裕氏
演 題：河川技術と技術者の歩んだ道－大河津分水工事を中心に－
場 所：アオーレ長岡 西棟 1 階 市民交流ホール A
（長岡市大手通 1 丁目 4 番地 10、TEL 0258-39-2500）

参加費：入場無料

交流会：17:30～ 長岡グランドホテル

会費 5 千円（地域の問題を考える方々どなたでも歓迎）

※参加申込は事務局までご連絡ください。（定員 180 名）

※スタッフ募集中。希望者は事務局まで。（15 名程）



東京大学 名誉教授
高橋 裕氏

サケまつり & 第 4 回新潟県博物館等友の会ミーティング「ともの会議 in 大河津分水」

～サケまつり～

毎年恒例、大好評のサケまつりを開催します！信濃川を上ってきたサケと野菜がたっぷり入ったおみそ汁、ピカピカの新米おにぎりをたくさん準備して、お待ちしております。参加は自由です。皆さん食べに来てください。また会場設営や、調理、給仕などお手伝いいただける方を募集します。希望者は事務局までお願いします。（事業部）

日 時：平成 27 年 10 月 17 日（土）11:30～

場 所：大河津資料館前

料 金：無料

※事前申し込みは不要です。直接会場までお越しください。
なくなり次第終了です。



昨年のサケまつり

～第 4 回新潟県博物館等友の会ミーティング「ともの会議 in 大河津分水」& 信濃川教養講座～

今年で 4 回目となる新潟県博物館等友の会ミーティング（前回までは友の会サミット）。今回は大河津資料館友の会が主催します。友の会の活動について、みんなで考え、意見交換しましょう。（実行委員会）

日 時：平成 27 年 10 月 17 日（土）午後

場 所：大河津出張所・大河津資料館

プログラム：パネルディスカッション・ワークショップ 等々

※詳細なプログラムは改めてお知らせする予定です。



前回のサミット
（なじょもんにて）

新潟県博物館等友の会ミーティングとは

新潟県内にある博物館等友の会連絡会を結成しようと県内各地の友の会組織に声をかけ、集まった友の会の交流と情報交換を目的に始めました。構成団体は阿賀野市立吉田東伍記念博物館友の会・石油の世界館友の会・十日町市博物館友の会・津南町なじょもん友の会・新潟県立歴史博物館友の会・新潟大学旭町学術資料展示館友の会・信濃川大河津資料館友の会の 7 団体です。
第 1 回 平成 21 年 阿賀野市立吉田東伍記念博物館友の会主催 会場：吉田東伍記念博物館
第 2 回 平成 23 年 新潟県立歴史博物館友の会主催 会場：新潟県立歴史博物館
第 3 回 平成 25 年 津南町なじょもん友の会主催 会場：津南町農と縄文体験学習館なじょもん
そして、今年は第 4 回目が信濃川大河津資料館友の会が主催で開催されます。毎回、主催の団体がそれぞれの博物館等でプログラムを組み行われます。今回は平成 27 年 10 月 17 日（土）サケまつりと同日に開催されることになりました。

次号のたよりにてミーティングの詳細をご報告します。

<<編集後記>>

団体会員ご紹介「我ら大河津分水応援隊！」はお休みです。今後は不定期掲載となります。◆7 月 11 日に開催された河川文化講演会終了後に解良理事が釜で炊いたご飯と新鮮な野菜を使ったおいしいお味噌汁を振舞ってくださいました。とっても美味しくておかわりしてしまいました。お心づくしに感謝です！◆これからは楽しいイベント目白押しです。みなさん、ぜひご参加ください♪（E）

<事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津 1215-7
TEL 090-2673-6596（事務局長）
080-9876-3683（事務局）
FAX 0256-97-3682

e-mail

ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>



夏の白鳥
（大河津分水路にて）